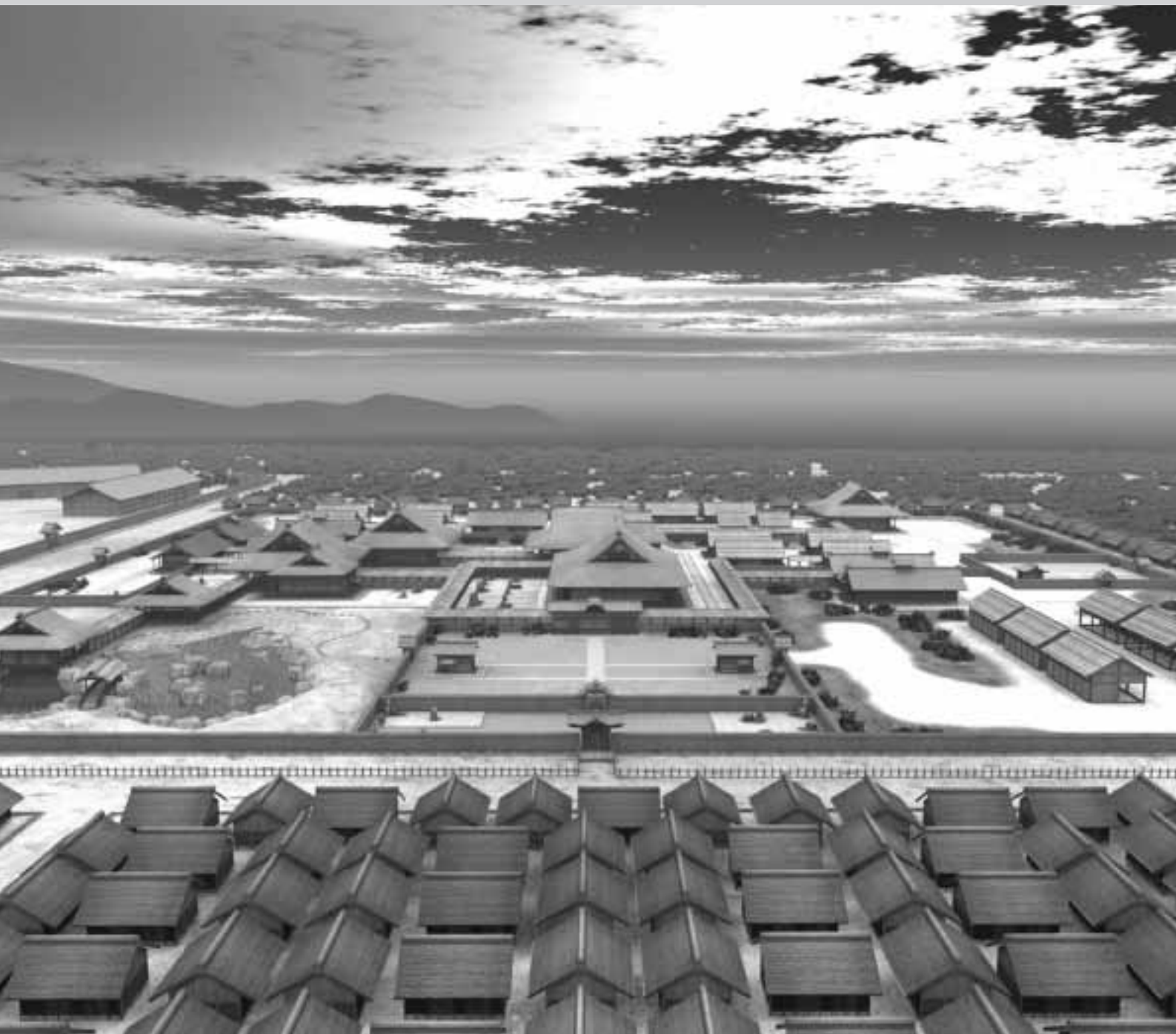


建築士

おおい



士 楽 豊

式 活 活

会 員 増 強 に ご 協 力 を !

~ 会 員 二 人 で、一 人 の 入 会 勧 誘 を ~
目 標 3,000 人 突 破



社 団 法 人 大 分 県 建 築 士 会

CONTENTS

1. ニュース採録・ニュース再録	
2. 「侘び茶」の世界への誘い	白杵支部 佐護 邦生
4. CPD制度早わかりシート	大分建築士会CPD特別委員会
6. 大分県建築士会ホームページの立ち上げについて	ホームページ特別委員会
7. シリーズ 登録文化財No.10 朝見浄水場	別府支部
8. MY WORK	佐賀関支部 大分支部
10. 舌検隊 パート 第7回 三重の巻	大分支部 宮崎 敏信
12. 個人的図書紹介 わたしのアラタ・イソザキ Vol. 3	白杵支部 虚無院
14. 会員紹介	日田支部 津久見支部 中津支部
16. インフォメーション	
~ 別府支部 ~	渡辺 誠司
~ 宇佐支部 ~	奥田 和彦
~ 大分支部 ~	飯倉 尚之
~ 日田支部 ~	吉田 博嗣
~ 佐伯支部 ~	富松智佐美
23. 行政だより 白杵市歴史環境保全条例について	白杵支部
29. 事務局だより	事務局
33. 編集後記	



CG製作者 大分県立工科短期大学校
住居環境科 助教授 鈴木 慎一

CGは、中世大分の友誼館、万寿寺、
御蔵場の情景です。

くわしくはP15を見て下さい。

毎回、途中参加されたが...。
お疲れ様でした。♪ N.M.



提案、御意見を
聞かせていただき、
よりよいものになりたい
と思っています。T.K.

子供が1歳になった日
編集委員の仕事でした。
早く帰ろう。
マイペースに頑張りました。
ふんふん。

広報委員

担当副会長	佐伯	志賀	隆保
常務理事	大分	幸孝	三博
委 員	大分	宮崎	隆博
"	竹田	川野	和男
"	別府	原	精一郎
"	大分	牛嶋	義文
"	臼杵	笠木	忠昭
"	臼杵	板井	登喜雄
"	佐伯	井上	一則
"	三重	岡部	達巳
"	日田	日高	淳一
"	中津	是本	正昭

編集委員

編 集 委 員	高田	成重	憲一
"	国東	菊本	軍治
"	別府	工藤	圭介
"	大分	中園	幸治
"	大分	佐藤	安典
"	大分	坪井	敬行
"	大分	飯倉	尚之
"	大分	安藤	幸子
"	大分	丸茂	憲子
"	佐賀	河津	幸治
"	臼杵	笠木	忠昭
"	臼杵	久野	悦子
"	津見	中津	留正
"	佐伯	安部	秀久
"	佐伯	富松	智佐美
"	三重	阿南	英彦
"	竹田	野村	忠
"	玖珠	後藤	喜美男
"	日田	武内	淳一
"	中津	小野	みゆき
"	宇佐	椋田	康一

建築士大分

2003.9 No.88

(非売品)

平成15年 8月26日 印刷

平成15年 9月 1日 発行

編集 / 発行所
社団法人

大 分 県 建 築 士 会

〒870 - 0022

大分市大手町2丁目2 - 7田原ビル2F

T E L 097 - 532 - 6607

F A X 097 - 532 - 6635

ニュース採録 ニュース再録

玖珠町 栖鳳楼が落成

保存修理工事をしていた玖珠町森の歴史的な建築遺産のお茶屋「栖鳳楼（せいほうろう）」（県指定有形文化財）が完工し、170年ぶりに建築当時の瀟洒なたたずまいを再現した。

<毎日新聞 2003 3 / 19>

WTC再建案が示すもの

ワールド・トレード・センター（WTC）の再建案が、ポーランド出身のアメリカの建築家ダニエル・リベスキンドに委嘱されることに決まり、話題をよんでいる。

<毎日新聞（夕刊） 2003 3 / 31>

日田市豆田町の長福寺、大規模な本堂保存修理、6月にも一般公開

「長福寺」（武内一美住職）で、県有形文化財に指定されている本堂の保存修理事業が進んでいる。三百年以上前の1669（寛文九）年築で、浄土真宗の寺院の中では九州最古。

<大分合同新聞（朝刊） 2003 4 / 6>

日田市の参加型文化施設は香山壽夫氏案

日田市が主催した日田市総合文化施設（仮称）公募型エスキスコンペの最優秀案に、香山壽夫建築研究所の案が選ばれた。

<日経アーキテクチャ 2003 4 / 14>

栖鳳楼修復完了を祝う

<西日本新聞 2003 4 / 15>

北京五輪スタジアムがヘルツォーク案に

中国・新華社の5月11日付の報道によると、2008年北京オリンピックの開会式場となる国家体育场（オリンピックメインスタジアム）の設計協議で、スイスのヘルツォーク&ド・ムーロンと中国建築設計研究院の共同設計案が選ばれたことが明らかになった。

<日経アーキテクチャ 2003 5 / 26>

登録有形文化財に中津の料亭・筑紫亭

十六日開かれた国の文化審議会で、県内からは中津市枝町・宮町の筑紫亭の主屋と離れ、堀の三件を新に登録有形文化財とすることが答申された。

<大分合同新聞（朝刊） 2003 5 / 17>

日田市が都市景観指定

日田市は、市都市景観条例に基づき、隈地区全体を都市景観形成地区に、同市三和の立花家土蔵を都市景観形成建築物に指定した。

<讀賣新聞 2003 6 / 4>

別府の街並み保存団体「湯の町」シンボル再生へ走る情緒豊かな町並みや文化を守ろうと、昨秋、市民団体「別府八湯トラスト」が旗揚げした。湯の町のシンボル「市中央公民館」を修復再生し、国の重要文化財に指定してもらいたい。

<讀賣新聞 2003 7 / 6>

『べっぴアアリーナ』開館へ 課題は赤字の抑制

別府市が青山町の旧別府球場跡地に建設した市総合体育館（愛称、べっぴアアリーナ）が13日、オープンする。

<朝日新聞 2003 7 / 12>

日田杉生かした新工法

丸太の立方体 組み合わせログハウスに臼杵市（足立信治氏）と東京の建築家（黒川哲郎東京芸術大学教授）が、県産材の杉丸太を骨組みにした住宅工法「スケルトンログハウスOITA」を開発した。

<大分合同新聞 2003 7 / 13>

県病に周産期センター

産科+新生児科 機能を拡充 24時間態勢で診療 県立病院に「総合周産期母子医療センター」が建設されることになった。リスクの高い妊産婦、新生児に適切な医療を提供しようという施設で、来年早々に着工、平成十七年四月のオープンが予定されている。

<大分合同新聞（朝刊） 2003 7 / 14>

法隆寺は再建

五重塔に創建以降の木材使用 長年の論争、決着へ 法隆寺（奈良県斑鳩町）の五重塔（国宝）に、624 - 663年に伐採した木材が使われていたことが、15日までの奈良文化財研究所による年輪年代測定で分かった。

<大分合同新聞（朝刊） 2003 7 / 16>

嘉穂劇場を救え

浸水被害支援の輪「修復は可能」「募金箱を」 19日未明の豪雨による床上浸水で、壊滅的な被害を受けた福岡県飯塚市の芝居小屋「嘉穂劇場」に22日全国芝居小屋連絡協議会事務局長、城恵一さんら3人が訪れ再興への協力を伝えた。

<讀賣新聞 2003 7 / 23>

「侘び茶」の世界への誘い

(白杵支部：佐護邦生)

先日、友人に「茶室」についての一文掲載を促されペンを取った次第ですが、思い返すと「茶の世界」へ誘われたのは、三十年程前のこと。白杵市の都市計画担当者として、当時国指定史跡・重要文化財であった「白杵石仏」の周辺環境整備計画策定中に、参加しておられた技術士の脇百太郎氏から「茶庭」の手法すなわち“侘び・寂び”の感覚を導入したらと、ある書籍を紹介されました。みるみる虜になり茶庭から茶室、さらには「茶の湯」の世界へと踏み込んで行きました。



「茶の湯」について、今日の茶道を確立した千利休が、次のような句を残しております。『茶の湯とは、ただ湯を沸かし茶を点てて、飲むばかりなることと知るべし、』と。この句に「茶の湯」の全てが語られています。この句の解説は研鑽を積んだ方にお譲りするとして、「茶室」の不思議さに引き込まれて行きました。中でも千利休が辿り着いた究極の空間、「小間」の茶室にわが身を置きたい誘惑には抗い難く、茶室建設を決意したのは、平成十年末の第四十一回建築士会奈良大会に参加したその折、訪れた大友宗麟ゆかりの京都大徳寺塔頭「瑞峯院」内の小間茶室「祖形・待庵」に御住職前田昌道師の親切なご案内を頂き、念願の体験が叶った時でした。



当時の感想を本誌に掲載して頂きましたが、その感動が昨年三月、粗末ながら思いを込めた拙宅小間「歸雲席」の完成になったと云うわけです。勿論、茶道の師に教えを仰ぎ、点前的一端を伝授して戴きました。その奥義の深さには、たじろぎつつも興味をそそられる毎日です。建築に携わる人の「茶」への感心は、先ず、空間構成に向けられると思います。普通の広間でも僅かの工夫で茶室に利用できます。では何故「小間」が出来たのか。嘗て戦国大名達が、戦いの合間に癒しの時を求め、豪華な道具立てで茶会を催していた時代に、茶人として認められていた千利休が目指したのは「侘び茶」の世界。華美を戒めた空間の到達点が「小間」だったと云います。利休が一切の虚飾、無駄を排除して完成した茶室で現存する唯一のものが国宝「待庵」であり、その写しが当時平成待庵と呼ばれた「祖形・待庵」です。瑞峯院の昌道和尚様のお許しを頂き其処に着座した時の感動は、今も脳裏に焼き付いております。この究極の茶室は更に研究された史料があり、分け入る程、その奥深さに恐れすら感じております。ここでの詳述は改めて学習し直した上で、別の機会を待つことにして今回は割愛することとしました。

さて、唐突ながら一つの提案をいたします。我々建築に関わる者として、利休が実践した、限りなく質素にして限りなく豪華な空間「茶室」を人々にお奨めしたらどうだろうと思うのです。閉塞感ただよう今の日本人の心に、豊かさとは、満足感とは一体何なのか、あらためて問いかけるためにも、偉大な先人が遺した賜物を今こそ届ける時と思います。しかし、「茶の世界」は、とかく一般に敬遠されがちです。その作法もですが、「茶室」を造るコストについても、あまりにも過大な負荷を感じていることです。確かに数寄人と呼ばれる人々の中には、財力に任せ、身の回りに華麗な「茶の世界」を築かれる人もあります。それも一

つの「茶」です。しかし、利休が目指した「茶」はもっと別の心の茶、彼はそれを「禅」の世界に求めたのです。利休曰く『小座敷の茶の湯は、家は洩らぬほど、食事は飢えぬほどにて足りる事なり』と。今、多くの人々が自宅を持ち、「ゆとりある生活」について考えておられると思います。そこに私たちが、その家の庭に簡素な侘び茶室を、又、母屋の座敷に炉を切る、など新しい空間提案をすべきではと思います。「茶の湯」の世界が身近にあることを実感してもらえば、私達の市場拡大にも繋がる...などと云えば少々飛躍し過ぎでしょうか。如何でしょう。



ところで、慎ましき拙宅内の小間「歸雲席」が皆様の御高覧の榮を賜れば幸甚に存じます。



CPD制度 早わかりシート

大分県建築士会CPD特別委員会編集

1. 継続能力開発 (CPD) 制度要領 目的

・建築士会では、建築士に付託された社会的な責務を全うするために、必要な能力開発を継続的に進める。
・同時に、建築士が技術的に責任をもつ専攻領域及び専門分野に見合う能力開発の内容を社会に明示する。
以上のように制度要項はまとめられていますが、要点は建築士自身が全うな資質を持ち社会に明示し、活躍するシステムを建築士会が構築することです。

2. 継続能力開発 (CPD) の実施方法

CPDは、建築士として最も重要な日常的創作活動などを通じて能力涵養が図られる「実務における能力開発」と新しい知識、技術を身につけ、実績・経験を補完する「研修による能力開発」の二本立てとなっています。

また、建築士に関わるすべての業務や活動がCPDの対象となるように工夫してあります。建築士はCPDを行い、それを建築士会が記録することで実績となります。

建築士会継続職能開発 (CPD) 認定プログラム

『建築士』2003 3月号	建築紛争の知識と回避・解決の知恵 「建築紛争にならないための生きた知恵」	里山 長生	単位：1
『建築士』2003 4月号	シックハウス対策と快適な住空間	赤林 伸一	単位：1
『建築士』2003 5月号	シックハウス対策と快適な住空間	赤林 伸一	単位：1
『建築士』2003 6月号	シックハウス対策と快適な住空間	赤林 伸一	単位：1
『建築士』2003 7月号	シックハウス対策と快適な住空間	赤林 伸一	単位：1
『建築士』2003 8月号	シックハウス対策と快適な住空間	赤林 伸一	単位：1
日経アーキテクチュア 2003			
・ 照明が生きる 照明作法	～ 5月12日号 最終回		単位：4
・ ステップアップ木構法	4月14日号～ 9月15日号 最終回		単位：不明
・ はじめてのマンション大規模修繕	現在連載中～ 9月29日号 最終回		単位：不明
・ 快適空間を支える設備トレンド	4月28日号～ 現在連載中		単位：不明
・ 続・ひび割れのないコンクリートのつくり方	7月21日号～ 10月13日号		単位：不明
・ シックハウス対応術	8月 4日号～		単位：不明
・ 音トラブル解消法	10月27日号～		単位：不明
講習会等			
・ サマーセミナーイン中津	9月13日		単位：6
・ 第46回建築士会全国大会 (宮崎大会)	10月24日		単位：12
・ 指定講習会	12月 1日		単位：12

CPD登録建築士は各自のCPDを記録し1年毎に記録を建築士会に提出します。建築士会は5年毎にそれを評価して、継続能力開発を行っている建築士として認定します。CPDの目標単位は250単位 (50×5年) です。この数値は一見ハードルが高そうに思えますが、建築士会の活動や法令などの講習、さらに自習などで容易に取得することができます (雑誌「建築士」の連続講座など精読すれば、最大12単位が取得可能)。その実績単位は、現在検討が進められている『専攻建築士』の認定と登録・更新の根拠となります。

大分県建築士会では、各種認定プログラムを構築する上で、「見たい・聞きたい・勉強したい」を満足するように計画しています。また、各支部各会員様からも情報を頂き、認定プログラムを随時開催できるよう配慮致したく存じます。

3. 大分県建築士会CPD特別委員会メンバー

担当副会長	芳山 憲祐	「大分支部」
委員長	井上 正文	「 〃 」
委員	今永 和浩	「 〃 」
〃	渡辺 豊基	「佐賀関支部」
〃	足立 忠明	「大分支部」
〃	後藤 憲二	「高田支部」
〃	志賀 智昭	「佐伯支部」
〃	竹尾 憲和	「大分支部」

4. ワーキンググループ

特別委員会の下部組織として、各支部青年部長・副部長をCPD特別委員会ワーキンググループとして編成しました。

ワーキンググループでは、CPD制度の普及とプログラムの掘り起こしや支部活動の情報提供と交換等、様々な活動を展開する計画です。

情報の共有化は今後の建築士会活動にたいし、重要な役割です。各会員様にて活用できる情報等がございましたら、このワーキンググループを活用され全体の活動につばげて下さい。

しかるに各会員においても、自社若しくは自宅パソコンがインターネット契約している環境が必須条件となります。これを機に、是非ネット契約されることをお勧めします。

5. 研修による継続能力開発 (CPD)

- 1 活動型研修について

委員会型研修で、土会の委員会であれば、出席時に「バーコードシール」が配布されますが、他の団体や社会貢献活動等では、参加の記録を手帳に書きとめ、主催団体又は建築士会で後日「バーコードシール」の発行を受けることとなります。

- 2 参加型研修について

土会が認定した講習会や講演会等は、土会のHP又は会誌で事前に公開します。これらについては、受講時に会場でバーコードシールを受け取ることが出来ます。さらに、今後、土会が後援や共催する「プログラム」については、会場での「バーコードシール」の配布や会員割引が適用される運用を図る予定です。当日配布されない場合は、参加証明書があれば後日「バーコードシール」を事務局が発行します。事務局の手間を省くため、大規模な講習会などは必ず会場で「バーコードシール」の配布を義務付けることを原則とします。

大分県建築士会ではHPに認定プログラムを掲示しています。

URL紹介 <http://www.oita-shikai.or.jp/>

- 3 自習型研修について

今後、「建築士」や各建築士会の会誌などに、CPD研修講座を設け、当該ページに印刷した「設問入りのバーコードシール」で解答し、切り取り、手帳に貼り付けることで履修可能とする予定です。その他の建築関連雑誌などによる自習についてはその都度の自己申告によって可能とします。

6. 実務による継続能力開発 (CPD)

・データ登録は、CPD手帳のデータ登録時に一緒に行う。

・実績の記録は、専用の書式への記入を行う事となさ

れる。記録用紙は、各土会のHPからダウンロードするか、土会へ請求することで入手できる。

・実際の登録は、電子データでの提出を原則とします。

現段階での「実務によるCPD」実務登録は連合会の進めるシステムの運用が成立していませんので、登録は不可となっています。将来システム構築が完成したら、皆様へ周知連絡します。

7. 研修型CPDのフロー

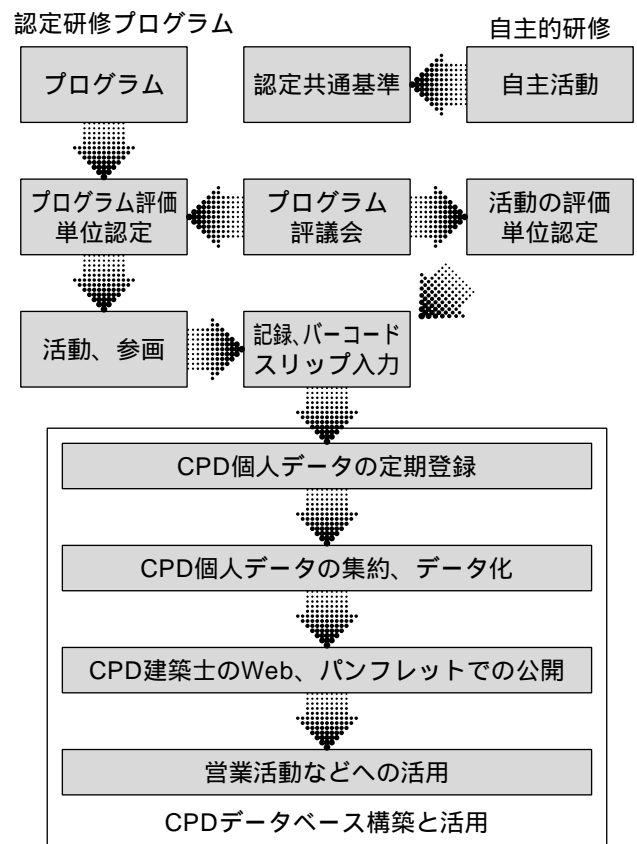
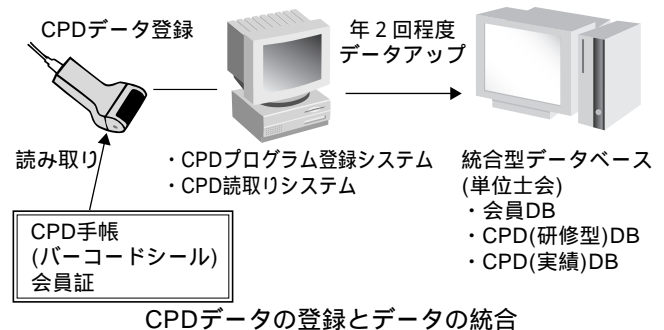


図1 プログラム認定からCPDデータベース

8. CPDプログラムのバーコードシールの発行



バーコードシールを手帳に貼付けることでデータ蓄積を効率化する方法を考えました。会員はこのバーコードシールをCPD手帳に貼付けるだけでCPD単位の蓄積ができます。バーコードは何処で作成しても同じ番号がつかないように工夫しています。

大分県建築士会 ホームページの立ち上げについて



大分県建築士会

ホームページ特別委員会からのお知らせ

ホームページ特別委員会は、岩瀬会長の指示により平成15年度の新規事業を担当する特別委員会です。

委員会の趣旨については、CPD制度の運用、さらに今秋に始まる予定の専攻建築士制度に併せて大分県のホームページを開設し、本部と連合会の情報をより早く会員へ伝えることを目的とするものです。

会の運営は、しばらくはホームページ特別委員会のメンバーのボランティアによって、行事の日程や各種委員会の記録の書き込み、CPD委員会の情報の掲示などの作業を行います。

以上の経緯から大分県建築士会のホームページ (<http://www.oita-shikai.or.jp/>) を6月に開設し、実際に運営してきましたが本部と各支部の連携のためには各支部のホームページの開設がどうしても必要であると判断致しました。

そこで、岩瀬会長はこの機会にインターネットを活用して各支部の情報を県下の会員が共有することで建築士が技術の研鑽を積むことの一助になればと各支部にホームページ開設を要請致しました。

また、この件に関して理事会で14支部のホームペ

ージ開設に伴う経費の補助を行う予算計上を承認して頂きました。

現在、14支部がホームページの開設について前向きに検討していただいております。既にホームページの開設を行っている支部は、中津支部、大分支部、臼杵支部、佐伯支部の4支部が運営致しています。そのほかに2～3支部が近いうちに開設予定です。

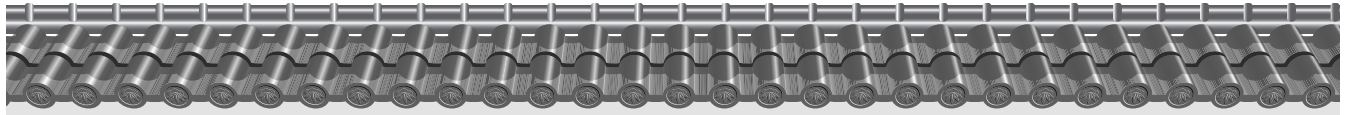
尚、ホームページ開設に際しては、青年部のワーキンググループの皆さんのご協力が不可欠でございますので、今後の運営に当たりましても、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

支部のどんな情報でも各支部のワーキンググループの会員に知らせ下さい。ホームページに掲載して情報の交換をしたいと思っています。

会員の皆さん是非一度“大分県建築士会のホームページ”をご覧になり、ご意見ご要望をお寄せ下さい。

ホームページ特別委員会会員名簿

芳山	憲祐	今永	和浩	渡辺	豊基
利光	英明	岐部	和久	竹尾	憲和
常廣	竜也	川村	彩希江		



シリーズ 登録文化財 No.10

朝見浄水場

名称：朝見浄水場
所在地：別府市朝見2丁目
登録年月日：平成9年9月3日

集合井室

建築年代：大正6年（西暦1917年）
構造：鉄筋コンクリート造
面積：13.81㎡

配水池

建築年代：大正6年（西暦1917年）
構造：鉄筋コンクリート造
面積：984.94㎡

配水池南北出入口

建築年代：大正15年（西暦1926年）
構造：鉄筋コンクリート造
面積：各13.38㎡

量水室

建築年代：昭和2年（西暦1927年）
構造：鉄筋コンクリート造
面積：16.82㎡

朝見浄水場は、別府がまだ町の頃に温泉町として発展するためには、浄水を安定して供給する上水道の建設が不可欠とのことから、大正6年に県内最初の浄水施設として完成した。その後市政施行後の昭和2年には、7万5千人に供給できる施設に拡張されている。

集合井室のドーム状の屋根や正面入り口の円弧状のペディメント等の装飾、量水室のギリシャ風を思わせる柱頭の装飾等に、近代化に向けて上水道施設を完成させた当時の人々の、近代都市へ代わろうとする強い思いが伺われる。



集合井室



配水池



配水池出入口



集合井室と配水池



量水室

MY WORK

工事名 幸崎駅前団地建設事業
建築主体附帯工事

工事場所 大分県北海部郡佐賀関町
大字幸崎281-3番地 他5筆

規模 中層耐火構造 5階建 片廊下型
20戸95.37㎡/戸（公営住宅方式）
建築面積378.01㎡
延床面積1,574.64㎡（建築基準法式）

構造 鉄筋コンクリート造
壁式構造 5階建 4戸列 20戸

設計者 (有)平野古庄一級建築事務所

工事施工者 (株)セキ土建 代表取締役 嵯峨 雄二

敷地面積 1559.4㎡

主要用途 共同住宅

建築面積 396.11㎡

延床面積 1600.99㎡

最高の高さ 16.007m

竣工 平成15年2月



建物名称 牧の家

建物場所 大分市牧2丁目268番

建築主 医療法人 愛敬会 理事長 山田 哲

設計者 (有)AMA 山田浩一郎建築設計室

施工者 (株)佐伯建設

構造 鉄骨造2階建

用途等 一戸建住宅

竣工 平成13年9月5日

建築面積 139.02㎡

延床面積 189.41㎡

設計主旨

この住宅の特徴は、曲げ加工された鉄骨梁による曲面天井である。また3mのキャンチレバーによる2階テラスなど鉄骨造らしい意匠を心がけた。



外観（昼）



外観（夜）



内部2F曲面天井 居間・和室

MY WORK

建物名称	真玉小学校校舎・体育館 附属幼稚園園舎
建築場所	大分県西国東郡真玉町5809番地
建築主	真玉町教育委員会
設計者	(株)九建設計
施工者	(株)菅組
構造・面積	小学校校舎～RC造+W造・2階 3100.08㎡
	小学校体育館～RC造+W造・2階 1286.60㎡
	幼稚園園舎～W造・1階 460.92㎡



外観全景～左から体育館・小学校・幼稚園園舎



小学校校舎を見る

私なりに現地を訪れ、真玉町の持つ美しく広がる遠浅の海岸に驚きました。そんな雄大な自然にとけ込む様、計画を目指しました。

学校の機能である、学ぶ・生活する・遊ぶ・交流する“場”を基本に、地域開放を積極的に取り込んだ多面的な施設として計画しています。地域開放出来る様メディアセンターを軸に、「皆が集う大きな多目的ホール」「子ども達が学年を越えて交流出来る小さなラウンジ」「大断面集成材を使った吹き抜けの空間」そして天井面に複数のトップライト・ライトシェルフを設け、変化に富んだ空間にしました。

又、幼稚園と体育館は校舎を軸に連続させ、一体の施設として多彩に機能する場として総合的に計画しています。

児童、職員のみならず町民の皆様にも末永く愛される学校になることを願っています。



小学校～メディアセンター



小学校～多目的ホール



体育館



幼稚園～東側外観



幼稚園～遊戯室ステージ側全景

只今、プール・グラウンド工事が進行中で今年9月に開校式の予定です。

舌検隊Ⅲ

第7回

三重の巻

大分支部 宮崎 敏信

このシリーズも3年目に入った。今回は小生の第二の古郷でもある三重町の『れと紹』となった。初任地が三重土木事務所で5年間勤務し、家内も三重町出身である。

今回お邪魔した『れと紹』は昭和40年代前半、三重土木へ通勤時にいつも眺めていた旧長田医院を改修したものだ。昭和2年に長田松三郎氏によって建てられた大野郡で最初の洋館建築である。当時長田医院の看護婦さんがよく土木事務所に注射を打ちにきていたものだ。現所有者が国指定有形文化財となっており残して欲しいとの要望で現在のように改修したそう。



三重支部広報委員の岡部会員も見えて、3人で乾杯。大原グランドで少し走ってきたので生ビールが美味しい。早速料理が運ばれてくる。ビールには洋食が合う。

付き出しに“うなぎとキュウリの酢の物”が出ていた。先ず“豚肉とモヤシの炒めもの”を頂く。炒め物の上にチーズが乗っており、辛みも適当に効いてビールにピッタリだった。次にスパゲティが出る。腹もすいておりみるみる食べてしまう。そして、“春巻きのヨーグルトカレー風味”が出る。これもビールかワインに合いそう。

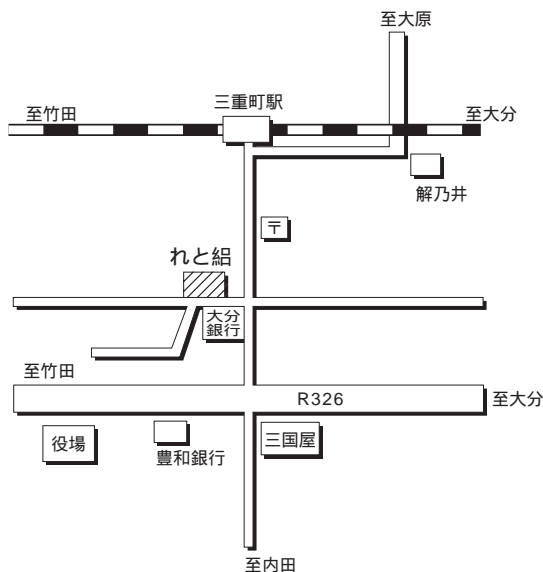


4月23日、夕方会場へ着く。三重町役場企画振興課長の赤嶺会員が場所を確保してくれていた。中3階で3畳程の広さで落ち着きがある。古い梁が頭の高さにある。黒光りしており貫禄十分だ。女将さんが、医院を復元した診察室や待ち合い室や自慢の庭園、茶室等を案内してくれる。庭園は藤の花が満開で夏季シーズンは庭のライトアップで文字通りのピアガーデンに活用してる由。茶室は京都の大工さんに依頼した本格的なもので大変落ち着いた造りである。要望があれば客室として使えるそう。今度彼女と来てじっくり飲みたい気分になる。





喉を潤わせた後は、日本酒とする。刺し身は若い女性向けに造っており洋皿に綺麗に盛られている。刺し身にはやはり日本酒が一番だ。紫蘇の葉の上に刺し身が乗っている。魚は寿司屋（ささや）さんをしている本店から来るそうで新鮮で美味しい。



赤嶺氏の役場の苦勞話や岡部氏のイギリス紀行の話で盛り上がった。

お酒も十分頂き、ご飯タイムとなる。海苔を巻いたお握りと温かい味噌汁で美味しく頂き、「これで二日酔いは防げた」とホッとする。

満腹でいい気分になって周囲を見渡すと、昔に還ったような気分になる。梁で頭を打たないよう荒縄で梁を巻いている。女将さんと写真を撮りたかったが本店の方が忙しく残念だった。玄関前で3人で撮る。



兩名と別れて三重町駅へ。JRの時間に余裕があったので駅前のスナックへ行ってみる。以前都町で20年通ったスナック「P」が当地で開店しており3年振りに訪れる。以前は相当の美人であったママさんもさすがに歳を重ねており年月の早さを痛感する。ビールを少し飲み、県庁や区画整理事務所当時の話題に話が弾んだ。小1時間程いて駅へ急ぐ。三重通勤当時よく、上司「S」さんの奥さんが経営していた旅館「M」に飲み過ぎて列車に遅れ泊めてもらったことが何回もあり懐かしく思い出された。車窓からその旅館（現在はホテルとなっている）の灯を見つめ“あれから30年以上経ったのかなー”と感慨に耽りながら大分へ向かった。

（註）この取材は個人的なものであり、土会より経済的な援助等は一切受けていません。

また、同行の諸氏にも応分の負担を頂いています。

次回は別府を予定しています。



個人的図書紹介

わたしのアラタ・イソザキ vol.3

臼杵支部 虚無院

2. もう一つの建築家像

旧・県立図書館建築について保存、解体の議論が巻き起こっていた頃、大分合同新聞の灯というコラムに建築家 辻隆司は次のような文章を掲載しました。「...論点の中心は、一つの建築を土地を含めて経済効率としてとらえられがちな地域社会に向かって、建築は文化として存在するものだという視点で見るこそ建築の本質だ、と主張することだと解釈できる。ことは現県立図書館にかかわらず建築とは一体なんだろうという高度な理解を必要とする難問である。(略)だれの言葉だったか『人間臭い事柄すべてが文化』と考えるのが一番適当ではないか。

であれば人間生きるところ文化に満ち満ちていて、文化の恩恵に浴しているのに、ことさらに建築を文化とあがめることもあるまい。(略)

人柄だけで良い建築を造れはしないが、造られた建築には人柄が出る。今月惜しくも逝去された松村正恒氏のことは『建築家よ花魁になるなかれ、野に咲く花となれ』と。つつましくそして激しく生きた先達の声こそ、文化とは何かを語り尽くしているのではないか。」(1993年3月30日夕刊)

確かに、磯崎新後の建築家は、建築を難解な言葉で語るという面で、我々一般人にとって余り良い方向に導かなかった点は非難されるべきであろうと考えます。

「私が敬遠して止まぬ人種、建築家、学ある人に倫理は地に墜ちたと指摘されても恬として恥じられない。それどころか多弁であり、天賦の才能ひけらかし、自作は完全無欠と思し召す。自分の名を挙げるに急なあまり、公が、これまた知性とぼしく先見の明なき輩、彼等が企てる箱物に加勢する。箱師か箱屋に成り下がる。

ご託を並べるも良い、ビジョン、イメージ、コンセプトも拝聴するも良い、ところが実際には、仰せの通りには活用されてない、使い勝手は我慢を重ねている、知らぬ存ぜぬ。建築稼の私などには到底考えられないことが罷り通る。(略)

形に色など末の末、建築家としての高邁な識見と謙虚な態度が問われている、と思っています。私が片時も忘れていないこと、山深く、人知れず咲く、名はなけれど清楚な花一輪、立ち去りがたい、そんな建築が創れたらとの思い。簡素で自然で静寂で、望めるものなら香気と身と心にしみとおる翳り、凜乎たる気品が

漂うならばと。(略)」「(『無級建築士自筆年表譜』村松正恒 著 住まいの図書館出版局 1994年6月21日第一刷)



過剰反応のような気もしますが、耳の痛くなった人は、私一人ではないと思います。

村松正恒氏(1913~1993)は、戦前のモダニスト土浦亀城の設計事務所でドラフトマンを勤め、戦後は、八幡浜市役所に奉職(1948年)し、まさに職を賭して、新谷中学校(1954年)、日土小学校(1958年)など幾つかの優れた学校建築を残し、独立(1961年)、1960年の『文芸春秋』の「建築家ベスト10」という企画では、前川國男、丹下健三、村野藤吾と並んで日本を代表する建築家に選ばれこともあるバリバリのモダニストでありました。事務所の玄関に掲げなければならない一級建築士の登録証を、「無級建築士」とか「無給建築士」または「無休建築士」などと書き変えたそうで、反骨の建築家そのものだったことを感じさせます。私のようにいつまでも心の定まらない人間にとっては、さぞ怖い存在であったろうと思われる。

今一つ心痛む思いのする箇所があります。それは日土小学校の項に次のように書かれています。

「それに幸運というか有難かったのは、この学校は地元の大工さんが施工したのです。だから、左官屋さんとかブリキ屋さんとかみんな地元のひとたちです。自分たちの村の学校だから、自分たちの子供や孫がそこで勉強する。だから、一生懸命やろう、という気持ちでつくりましたから、大変よくできています。金銭勘定を度外視して、もってる技術を出しきって取り組んでくれた手づくりの学校です。(略)」

私は、教育庁勤めの折りに、当時の文部省の施策である校舎の鉄筋化の方針に、何の疑いも抱かずに従った覚えがあります。しかし、私の出会ったどの木造校

舎も老朽化はしているものの、その姿、構造と立派なものでした。少なからず私も地元の大工さんの心意気を感じたのは事実です。建替え後の無機質な鉄筋コンクリート建築を見るに付け、あの木造校舎を大規模改装すればよかったのにと深く悔やんでおります。切り妻屋根の2階建てという、同形ではありましたが、平面計画、材料、納りなどに少しずつ違いがあり、木造校舎は豊かであったと思います。ちなみに大分県内に現存する最も古い木造校舎は、国見町の岐部小学校で、明治32年(1899年)竣工され、90年にわたってその用をなしたそうです。(『木造校舎が教えてくれたこと』より 大分県産業科学技術センター 日田産業工芸試験所 2000年3月作成)



岐部小学校は、すでに2000年3月をもって閉校となり、幸いにして校舎の一部は地域の集会所として利用されているとのこと。ついでながら、この本をまとめた動機というものが、書かれていますので引用します。

「木の町には木の建物が似合います。それは、地域の素材と地域の技術がきちんと活着しているからです。生活しやすい空間が生まれます。素敵な建物であれば景観が豊かになって、ちょっぴり地域への誇りも生まれます。そして、産業も潤います。

このことを木の町に暮らす人にもっと気付いて欲しいという思いから木造校舎の調査研究を始めました。(略)

県内の木造校舎を一校ずつ訪ね、教室、廊下、特別室、お手洗いまで校舎の内外をつぶさに調査させていただきました。記録しながら『木造校舎が教えてくれているなあ』と思うことが多くあり、訪ねる度に一つ、また一つと増えていきました。まだまだ増えていきそうですが、早く皆さんにこのことをお伝えしたいと思

い、冊子としてまとめてみました。(略)」

ここで一つのエピソードを紹介します。“パターン・ランゲージ”で有名なクリストファー・アレクザンダーの処女作となった盈進学園東野高等学校の建設に際し、当学園の細井久栄理事は、世界や日本中の学校建築を見て回り、最後にたどりついたのが日土小学校だったそうなのです。

村松氏談「確かに、手のこんだ、お金のいっぱいかった学校はあるけれども、細井先生の考えておられたのは、そうした学校ではなかったようです。わたしのつくった学校は、それこそ素朴きわまりないものです。けれども、それがかえって細井先生に理解されたのであれば、これは大変うれしいことです。わたしは、学校というのはここにあるぞ、と主張するものではなくて、ひっそりと建っているのがいいと思っているのです。自然の中に融けこんで、ひとつも目立たない学校が、わたしの理想なのです。」

(『学校の冒険』 INAX BOOKLET Vol. 8 No. 2 1988年9月9日発行)



最後に、村松氏の建築に対する信条であり、建築家の倫理に触れるであろう箇所を引用して終わりにします。

「建築の良し悪しの判断の規準は、一体どこにあるかと考えるとき、ある人は、イデオロギーを以て絶対とし、ある人は、機械主義的機能主義をふりかざし、ある人は造形的近代性を取りあげるかもしれません。

しかし私は、色々な条件のもとで、それらを一様な規準の上にものせることは、できないように思います。もし我々が、何か一つの規準をもって判断しようとするれば、我々の心にながれるヒューマニズムを、よりどころとするでありましょう。」

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



生年月日 昭和52年5月23日

勤務先 梶ホーム

趣味 ドライブ、スキー

将来の夢、モットー等

僕は大工です。

小さい頃から父親の仕事に興味があり、福岡県甘木市で大工の修行をし、3年前に地元日田に帰ってきました。今は、父と2人で仕事をしています。「一日でもながく楽しく暮らせる住まい作り。」を目標に、プラン～施工まで、お施様の声を反映できる住宅造りを頑張っています。

住む人の立場になれば、一つの住宅を建てることはとても大変なことです。だから、これからも勉強、経験をかさね、少しでもみんなが幸せで楽しく暮らしていけるような、家造りをしていけたらいいなと思います。

建築士会に入り、たくさんの人との交流ができ、本当に良かったと思います。これからも色々な活動に積極的に参加して、もっと色々な人と交流していきたいです。



梶原 宏一（日田支部）

生年月日 昭和46年6月5日

勤務先 蒲江町役場

趣味 映画鑑賞

将来の夢、モットー等

「温故知新」をモットーに高齢者や若者(子供達)が安心して暮らしていける環境づくりをしていきたい。



塩月 禎典（津久見支部）

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



生年月日 昭和50年12月7日

勤務先 有限会社 中屋敷材木店

趣味 おいしいものを食べること・魚釣り
将来の夢、モットー等

語学に興味があり埼玉の学校にて専攻。卒業後は東京の映像・グラフィックデザイン・データベース等のコンピュータシステムとデザイン材料の専門商社に入社。営業職に就いて3年。ベンチャー起業を考え始めたのですが一転、実家の家業を継ごうと思いい九州に戻りました。のち、北九州の外材製材工場・プレカット工場に勤務し現場及び木造構造CADを勉強させて頂きました。そして現在、家業である木材・建材・住設機器の営業として頑張っています。

中津建築士会には18歳で上京して中津をまだあまり知らないこともあり、人脈を増やし、何か中津で活動出来ればいいなと思い入会させて頂きました。

嫁さんは埼玉県草加市の出身でやっところらの生活にも慣れてきたところです。

建築関係の経験はまだまだ少ないのですがこれから人脈を増やして仕事に遊び？に打ち込んで当社としては様々な商材を提案していきたいと思ひます。



中屋敷 知則（中津支部）

CG作成について

本作品は、平成12年度の学生の卒業研究ということで私を含め5名でスタートしたものです。

その当時、大友館を描いた古地図は数枚現存していたのですが、あまりに規模が大きすぎて実在していたか否か定かではなかったのですが、館の庭園跡が発掘されて次第にその全容が判り始めますと、どうも古地図の描写はあながち間違っていたのではということになりました。そういう記事が新聞紙上をにぎわせていたものですから学生と軽い気持ちでそれっぽいものを造ろうかということになりました。最初はどこの誰に尋ねていいものかさっぱり判らず図書館や歴史資料館などの資料を片っ端から収集して我々なりの大胆な推理を加えて、CGを作成しました。それがあにはからんや読売新聞の夕刊に掲載されて、みなさんのお目に触れたという次第です。

我々は、それで終わりのつもりだったのですがその記事を目にした、大友館や中世大分府内町を研究していらっしゃる先哲資料館の主任研究員の方からきちんとした館の復元をしてみませんかというオファーをいただきました。ちょうど、工科短大校の住居環境科（私の在籍している科）でも学内研究を募集していましたのでこれに応募しまして、今度は先哲資料館の研究員の方との共同研究がスタートしました。

私自身、きちんとしたものを作成しなかったので最小から腰を据えて、精細モデルを3DSMAXというCGソフトで作成し始めました。やり始めると膨大な時間がかかることがはっきりしてきましたが、そのときは時すでに遅く、もう、途中下車は許されない状況になっていました（笑）

それから約1年半かかって大友館と万寿寺と御蔵場のCGを完成させたのですが、作成途中、2ヶ月間かけて造ったモデルがハードディスクのクラッシュによって昇天したときは、1週間ぐらいショックでなにも作業ができませんでした。

まあ、そんなこんなで何回かのテストレンダリング(CGソフトによる描画)のチェックを経て、監修をお願いしている主任研究員の方から、大体こんなものでしょうねという返事をもらった後は、過酷な作業から解放されてPCを触る気になれませんでした。

CG作成の後は、大分市民の皆さん方に是非、大友館の偉容を知っていただくとうホームページの作成を致しました。ここでは、大友宗麟や府内町の解説の他に作成したCGの動画や静止画を置いてありますので興味のある方は是非ご覧ください。

大分県立工科短期大学校住居環境科 助教授 鈴木慎一

URLは<http://otomoproject.zive.net/top/>



～庫裏建築～

渡辺 誠司

久しぶりの別府支部主催の現地見学会ということで悪天候にもめげず少々早めに足を運んでみた。建築に携わる人でも、寺社を手がけたことのある人はそう多くはないのでは？

用途：庫裏（臨済宗妙心寺派 梵音山 海潮寺）

場所：大分市三佐4丁目8-16

構造：木造平屋立て（一部2階）

延面積：365.11㎡

（設計主旨）

海潮寺の宗派は臨済宗妙心寺派であり、その宗派に沿うような外観を心掛けた。また平面計画においては檀家・総代表の代表である「建設委員会」の方々とは打合せを行い決定した。

本堂との調和を考慮し、構造は木造、また外観は多くの臨済宗寺院が妻造りに妻入り玄関となっているのでそれに習った。



（玄関屋根は、唐破風造りにすると本堂と同じになるので流れ屋根とした）

建物構造は通常の平屋建てと同じに造っているが、土台の柱ほぞ部分は基礎の上まで伸ばし、直接基礎に荷重が伝わるようにしている。



「破風板」は一枚板を使用し、形状は臨済宗寺院になって眉（破風板下の溝）を先端で切り上げて華やかな彫刻は施していない。



小屋組は純和小屋とし、「牛木」に「一の梁」「二の梁」「三の梁」を掛け、その上に「繋ぎ梁」を組む小屋組みにした。

「小屋束」には「小屋貫」を縦横通しており、建物の立ち起し後、クサビで締めて込み栓を打っている。

この建物は在来工法を踏襲し、伝統的な組み方と「仕口・継ぎ手」を多用し、大工職人の技術向上と伝統の継承を考慮した設計である。

【現場担当者より】

「海潮寺庫裡新築工事」にあたり、多くの寺院関係者様や関係各位の方々のご協力をいただき感謝しております。

通常の建築方法とは異なる仕口や仕様など施工時間はかかりますが、ただ建築物を造るだけではなく伝統的な工法などを次の世代に伝えるという意味でも大変貴重な工事経験であります。

工事に携わる職員や工事関係者も、本来の職人としての「造った建物と技が長く残る」という責任を、常に心がけながら施行しております。



宇佐八幡神輿フェスタに参加して

奥田 和彦

爽やかな秋晴れのもと、東大寺の開眼供養から1250年の節目に行われた一大イベント宇佐八幡神輿フェスタが、多数の見物客やマスコミも注目された中で、盛大に行われました。



この一大イベントに参加する事が出来、改めて歴史の重さや、宇佐と奈良東大寺と繋ぐ大きな役割である事を再認識させられました。神輿が宇佐神宮発祥という事も感動でした。

奈良へ行く前に神輿を担ぐ練習を、現地を想定して宇佐神宮で行いましたが、いざ本番となると担ぐ距離も長ければ、坂もあり思った以上に神輿を重く感じました。神輿1基に大人20人程で東大寺までの道のりを練り歩き、大きな階段では神輿を手渡ししながら、参加者全員が一丸となり、担いでいきました。



実際、東大寺本殿に神輿を担ぎ込んだ時は、大変感動し、その時の気持ちは一生忘れる事が出来ません。1250年前に神輿を担ぎ込んだ人たちと同じ気持ちになれたような気がします。



全国に神輿発祥の地「宇佐」をアピール出来、今後の宇佐市の活性化に繋がるイベントになったと思います。宇佐市で生まれて伝統を受け継いだ子供達が日頃の成果を発揮するには、二度とない大舞台が用意され子供達の育成にも意義があったと思います。



また、建築士会の一員として参加でき、古い伝統のある巨大な木造建築は非常に勉強になり、目の当たりにした時、改めて昔の建築技術の偉大さを思い知らされました。

私の人生の中で二度と無い素晴らしい体験をさせてもらい、良い経験となったと思います。



マリンパレス

大分支部 飯倉 尚之

建築概要

名称：マリンパレス新水族館

建築場所：大分市大字神崎字ウト3078番地5地先

建築主：株式会社マリンパレス

構造：鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階

設計：株式会社日建設計

施工：竹中・佐伯共同企業体

竣工：2004年3月

2004年4月にオープン予定のマリンパレス新水族館の工事見学会に参加してきました。

当日はあいにくの大雨で、施設内が大きな水溜りと化しており、長靴を履いて来なかった事に後悔しつつ、見てまわりました。

工事の進捗状況としては、コンクリート工事が概ね終了している状態で、内装にはまだ入っていないため中に入ってもまだ水槽・展示室なのか設備室なのか判断がしにくい状態でした。

施設のコンセプトに「ふれあい」をうたい、大型のタッチゾーンを設ける事によって、来館者が水辺の生物と接する機会を用意しています。

施設の特色としては、立地的に国道10号線に接している事から騒音が懸念されそうですが、国道10号線側に鉄筋コンクリート地上3階建の建物を配置する事により、道路からの騒音をシャットアウトし、海側の開放空間で海と、後ろにそびえる高崎山の自然を満喫しつつ、水族館内を見て回ることができるということでしょう。

実際開放空間の先は海！とロケーション抜群でした。（しかし、当日は大雨のため海が荒れていて、少し恐かったです。）

また、来館者に向かって魚が泳ぐ水槽や、川のせせらぎを模している水槽、足下に水槽等、水槽の形、配置としても従来型とは一線を画した物になっていると思いました。

見学時ちょうど水槽内の擬岩工事を施工していました。今まで本物の岩を置いているのだと思っていましたし、施工自体も初めて見るので、色々聞いてみました。擬岩は実際の岩より石膏で型をとり、型をとったものを骨組みに溶接して組み立てていくそうです。

ちょうど骨組みに溶接していく過程を見ることが出来ました。

型と型との間の取り合いは職人さんの腕次第で、職人さんも少なく、今ディズニーランドでも擬岩工事をやっている関係で、職人不足だそうです。

技術だけでなく、芸術的センスも必要とするためでしょうか。



説明会の風景



まだ内装まで至っていないため、内部のイメージはCGに寄る物だけでしたが、内部を見てまわったの感想としては、従来水族館は暗く密閉された空間の中を水槽内部がライトアップされていて、自分が水の中にいるような感覚になっていくものですが、マリーンパレスは逆で、開口部が多く、海に潜って体験するのではなく、陸と海、お互いの住む場所で自然に接する、別府湾と高崎山、自然に囲まれたこの場所ならではの利点を生かした施設となっているのではないのでしょうか。

全国水族館はたくさんありますが、マリーンパレスとしてのコンセプトをしっかり持って設計されている気がしました。



施工中の擬岩工事

私が初めて行った水族館はマリーンパレスでした。そういう方も多々いらっしゃるのではないのでしょうか。新生マリーンパレスが、観光の目玉となって大分が今以上の発展をすることを願ってやまないです。随分褒めちぎりましたが、素朴に雨が降った場合は、傘を差してみても周る部分が多々あるのかな?と思いました。それとも何らかの処置を施しているのか(開閉式の屋根等)それは次回の見学会時に気を付けて見ておこうと思います。(記事になるかどうかは微妙です。)

当日竹中・佐伯JVの監督さん達は忙しい中、事前説明から現場内の案内、見学終了後の質疑応答等をして頂き、大変楽しく見てまわる事が出来ました。ありがとうございました。



「大分県指定有形文化財長福寺本堂 保存修理工事について」中間報告

日田市教育庁文化課 吉田博嗣

日田市の豆田地区は17世紀初頭に町割りされた九州でも数少ない近世都市であり、花月川の北側には、当時、西国筋郡代が置かれた永山布政所や丸山城が存在していましたが、現在は丸山城の石垣や堀の一部を見る事ができるのみです。

長福寺（浄土真宗）は豆田上町通りの東側に位置する真宗寺院で寛文9年（1669）に創建された本堂のほか、山門、鐘楼、経蔵、常燈明堂などが残り、今も往時を偲ぶことができます。

また、長福寺は日田を代表する儒者広瀬淡窓が24歳の時に長福寺学寮を借りて塾を開いた淡窓ゆかりの地でもあり、当寺は豆田町にとっては欠かすことのできない歴史的建造物となっています。しかし、市内に現存する最古の木造建築物でもあり、長年の風雨等による傷みが激しく、この度の保存修理をする運びとなりました。



保存修理は半解体修理という方針のもとで平成14年12月から平成17年6月までの予定で修理が行われています。

まずは、細部の傷み具合の調査を行うため、素屋根が架けられた後、屋根瓦などが降ろされました。

その後の調査結果で、以下のような所見が出されているので主なものを報告します。

1. 平面変遷過程について

これまでの調査により寛文9年に創建された後、4期にわたって平面が変化していったことが判っています。



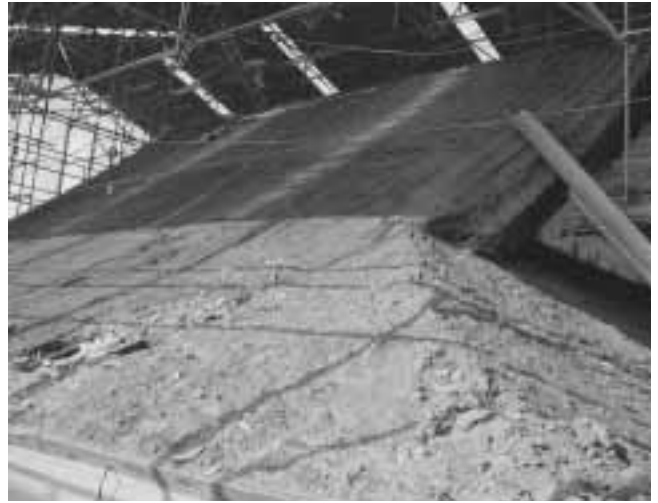
素屋根工事

元禄15年（1702） 享保20年（1735）
文化6年（1809） 昭和2年（1927）と変遷していった理由については、真宗寺院の宗教的作法により、それぞれの時代で間取りを改善したと考えられています。

元禄期に余間壇をつくり、享保の頃仏間を三つ並び仏壇形式から後門形式に改変し、文化には矢来の間を位置付け、向拝を新たに付加して屋根を大きくしています。以上のような変化は、親鸞上人や蓮如上人の御遠忌など宗教的行事に合わせ、本堂に手を加えられたと考えられます。今回の保存修理工事は大分県指定文化財の例としては大変規模の大きなものであり歴史的建造物への関心や保護への理解を深めてもらうため、所有者の方や現場の方のご協力ををいただき先日見学会を開催することができました。見学会は6月8日（日）・9日（月）の2日間行われ、1日目は建築関係者の方と一般見学者を対象として実施したところ、暑い中にも関わらず約350人の参加者があり大盛況でありました。特に今回の修理の指導顧問でもある菅澤



瓦降し：丸瓦より順に降ろす



瓦下地の葺き土：瓦を降ろした後



野地解体：葺き土の下地は大半が竹木舞で、一部近年の修理部分が板であった。



野地解体後：野垂木一部解体

茂氏（京都府教育庁文化財保護課／文化財建造物保存修理主任技術者）による講演会は、大変好評で建築関係者の方の熱心に聞かれている姿が印象的でした。菅澤氏については、府の職員として西本願寺大師堂など本邦最大規模の文化財保存修理工事担当者としてテレビ、新聞紙上等でも周知のところでありますが、何よりも浄土真宗寺院においてはスペシャリストである氏が今回の修理を指導していただけることは長福寺本堂にとっても大変幸運であったと思います。

2日目は学校関係団体による見学会を実施いたしました。日田林工の2・3年生（86名）や日田高等技術専門学校（22名）花月小学校（11名）などが見学におとずれ、普段は見ることのできない建物の内部を熱心に見学していました。

このような文化財建造物の解体修理をする際の工事現場の一般公開については全国で相次いで実施され人気を博しているという記事を最近見かけました。（5月11日付日経新聞）建造物の修理現場の公開には安全

確保のための費用や手間がかかるわけですが、数百年に一度の大規模修理時には普段見られない部分を間近に見ることができることから、歴史的建造物への関心や保護への理解を深めていただくよい機会ととらえ、所有者や地元教育委員会が協力をして自主的に公開するところが増えています。

今後も日田市では所有者と協力しながら長福寺本堂の保存修理工事につままして、広く県民の皆様にも公開していけるよう今後も見学会等を考えておりますので、建築関係者の皆様にもいろいろとご協力をいただきますようお願いいたします。

また、内容等に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

連絡先：〒877 - 0077日田市南友田町516 - 1

電話：0973 - 24 - 7171

FAX：0973 - 24 - 7024



城下町佐伯 国木田独歩館

佐伯支部 富松智佐美

今年の4月30日に開館した国木田独歩館は、天保10年佐伯毛利家11代高泰公が女島沖の州に築造した別荘「御浜御殿」を明治3年に佐伯市城下町に移築して藩の重臣の家系であった坂本家の住居として利用していたものです。

また明治26年10月から明治27年6月末までの間、文豪・国木田独歩が弟収二とここに下宿し鶴谷学館の教師をしながら散策と思索の日々を過ごしました。

このような佐伯と独歩の関わりを彼の過ごした坂本邸で紹介するために佐伯市が修復し国木田独歩館として公開することになったそうです。



全 景

私はまず独歩が使用していたという2階の8帖の部屋に行ってみました。最初は平屋建てだったものを移築してから2階建てにしたということで、天井がとても低いのが特徴的でした。部屋の窓は当時のままとということでガラスには気泡が残っていてガラス越しに見る景色はなんとも言えずやわらかい感じでした。

机は残念ながら独歩が使用していたものではないけれど当時のものだそうです。



書 斎

1階には唯一そのまま残っている、あじろ天井とらんまのある仏間があり、その日は他にお客さんがいなかったのので畳の上に仰向けに寝て眺めてみました。

今、私は独歩と同じものを見てるんだなあなんて思いながら・・・



あじろ天井

仏間の手前の部屋には、神棚が飾られていて五つの神様がまつられていました。



神 棚

国木田独歩

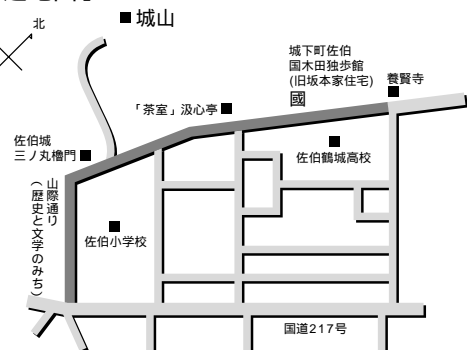
明治4年8月30日、千葉県銚子に生まれる。

明治26年に佐伯に鶴谷学館の教師として赴任。

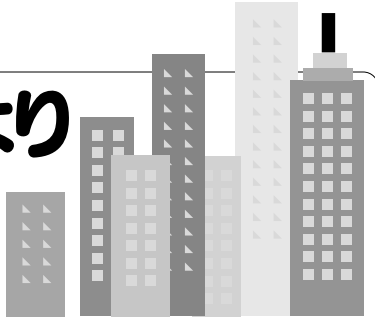
坂本永年邸(現国木田独歩館)の2階に下宿し、1年足らずの日々を過ごした。この間、城山をはじめ佐伯の自然の中を歩きまわり周囲の人々と交流する。

これらの経験は後の作品に大きな影響を与えることとなり、「春の鳥」「源おぢ」「鹿狩」など佐伯を舞台とする作品も少なくない。明治41年に38歳の誕生日を迎えることなく短い生涯をとじた。

「周辺地図」



行政だより



臼杵市歴史 環境保全条例について

- ・ 臼杵市歴史環境保全条例とは
- ・ 戦国時代以来の臼杵の町並み

現在の臼杵の中心市街地は、16世紀半ばの大友宗麟の臼杵築城を契機として誕生した町場を母体とし、16世紀末から19世紀半ばにかけて城下町として成長した都市域の町割を踏襲しつつ、明治以降に近代的発展をとげたという、全国でも極めて珍しい経緯をもっています。

また、中心市街地は、第2次世界大戦での戦災を受けなかったこと、戦後も近世末期の構造を基盤とした産業形態を保っていたこともあって、昭和30年代半ばまで、城下町のよすがを色濃くとどめる町並みを残していました。しかし40年代前後から、モータリゼーションの高まりや、大分国体に向けての交通体系整備などによって、臼杵も都市化が進むようになります。

このように歴史的な町並み景観が失われていこうとする中で、町並みを愛する市民のなかからこれを保全し、後世に伝えようとする活動が活発化したのは昭和50年代のことです。この動きは、昭和58年の第6回全国町並みゼミ臼杵大会の開催によって、全国に知られることとなり、臼杵の歴史的景観の価値は、多くの人々に認識されることとなったのです。

- ・ 臼杵市歴史環境保全条例

こうした流れの中で、臼杵市もこれと歩調を合わせ、昭和60年に「臼杵市歴史的環境保存基金条例」、昭和63年には「臼杵市歴史環境保全条例」を制定し、本格的に行政サイドからの町並み保全の取り組みを開始しました。

臼杵市歴史環境保全条例は、市内で歴史的景観をよくとどめている地域を保全地域に定め、この地域内の歴史的景観を面的に保つことによって、落ち着いた居住空間を形成しつつ、市民が自発的に、臼杵の特性である歴史的な町並みを活かしたまちづくりを行なう意識を育てることを目的としています。また、景観上のみならず歴史的にも重要と思われる建築物等は、保全地域外であっても保全建物等に指定の上、保全措置を

行なっています。

具体的には、この地域の中で建物等の新築、あるいは既存建物等の改修などを行なう際、現状変更申請を行い、臼杵の歴史的景観に適している場合は、条例の規定に則して、市が補助金による助成を行うというものです。歴史的景観の維持・保全を趣旨とするもので、建築物等の外観修景のみを事業の対象とし、内装については近代的生活に支障をきたすことのないよう、施主の自由意志に基づき、事業の対象にしていません。

市民の自発的な町並み保全意識の啓発を目的とするこの事業の性格上、条例に罰則規定はなく、市も現状変更者に協力をお願いするという立場をとっていますが、条例が施行された平成3年から平成15年3月末までに、123件の現状変更申請に対し、120件の補助金交付を行なっているなど、徐々にこの事業の趣旨が市民に浸透し、臼杵のまちづくりに大きく貢献していることも事実です。



工事施工前



工事完了

対象工事

1. 木工事（軒天・腰板張り・面格子他）
2. 屋根・樋工事
3. 壁 漆喰仕上げ
4. 土間 灰石張り

なお、臼杵市歴史環境保全条例は以下のとおりです。

(目的)

第1条 この条例は、臼杵市のもつ歴史的文化的遺産を保全するために必要な措置を定め、もつて臼杵らしいまちづくりの形成を図り、臼杵市の歴史的景観を末永く後世に継承することを目的とする。

(市の責務)

第2条 市は、前条の目的を達成するために必要な施策を実施するものとする。

(市民の責務)

第3条 市民は、市の施策に協力するとともに、進んで歴史的景観の保全につとめなければならない。

(定義)

第4条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

(1) 第1種保全地域 歴史的文化的遺産として歴史的景観を保全する必要のある地域をいう。

(2) 第2種保全地域 第1種保全地域に接し、又はこれに準ずる地域で第1種保全地域との調和のとれた環境を保つ必要のある地域をいう。

(3) 保全建物 歴史的文化的に重要な建物及び工作物で歴史的景観を保つために保全する必要のあるものをいう。

(保全地域等の指定)

第5条 市長は、第1種保全地域、第2種保全地域及び保全建物(以下「保全地域等」という。)を指定するときは、臼杵市歴史環境保全審議会(以下「審議会」という。)の意見を聴いて定めるものとする。

2 市長は、保全地域等を指定するときは、その旨を告示するものとする。

3 前2項の規定は、保全地域等の指定を解除し、又は変更する場合に準用する。

(保全計画)

第6条 市長は、保全地域等を指定したときは、審議会の意見を聴いて当該保全地域等の保全に関する計画(以下この条において「保全計画」という。)を定めなければならない。

2 前項の保全計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

(1) 保全建物の改修等による保全に必要な技術的な指導に関する事項

(2) 保全基準に関する事項

(3) 保全に必要な経費の負担に関する事項

(行為の届出及び助言、指導)

第7条 保全地域等において、次の各号に掲げる行為をしようとする者又は当該行為をしようとする者から設計等の依頼を受けた者は、あらかじめ市長に届け出

て協議しなければならない。

(1) 保全建物の外観を損なう新築、改築、移転又は取壊し

(2) 保全建物の形状、材質及び色彩の変更

(3) 宅地の造成、その他土地の形質の変更

(4) 看板及び広告類の掲揚

(5) 前各号に掲げるもののほか、景観の保全に支障を及ぼすおそれのある行為

2 市長は、前項の届出があつた場合は、当該届出をした者に対して必要な助言、指導又は勧告をすることができる。

3 市長は、第1種保全地域内その他市長が必要と認める地域において第1項各号に掲げる行為をしようとする者に対し、前項の助言、指導又は勧告を行うため特に必要があると認められた場合は、審議会に諮るものとする。

(経費の補助)

第8条 市長は、前条第1項の届出(第1種保全地域内及び保全建物に係るものに限る。)をした者が同条第2項の規定による助言、指導又は勧告に従った場合は、当該建物及び工作物の所有者又は占有者に対し、予算の範囲内において、その経費の一部を補助することができる。

2 市長は、前項に掲げる場合のほか特に必要と認められたときは、審議会に諮り経費の一部を補助することができる。

(適用除外)

第9条 この条例は、文化財保護法(昭和25年法律第214号)、大分県文化財保護条例(昭和30年大分県条例第12号)及び臼杵市文化財保護条例(昭和51年条例第18号)の規定で指定を受けた文化財には適用しない。

(審議会の設置)

第10条 市長の諮問に応じ、歴史的景観の保全に関する事項を調査審議させるため、臼杵市歴史環境保全審議会を設置する。

2 審議会は、歴史的景観の保全に関し、市長に意見を述べることができる。

(組織)

第11条 審議会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 識見を有する者

(2) 公共的団体等の代表者

(3) 保全地域等の代表者

(以下略)

・臼杵市歴史環境保全事業について

a. 保全地域について

- ・市街地地区(旧城下町域の一部約32.5ha)

城下町の風情を今にとどめ、近代期まで大分県第2の商都として栄えた往時のよすがをしのばせる景観を保全する地域です。(地域図はP26上段参照)

- ・石仏地区

(国宝臼杵磨崖仏周辺の深田・中尾地区約37ha)

国宝臼杵磨崖仏の周辺に展開する田園地帯は、自然景観や磨崖仏と一体となった中世的景観を今に残しています。日本から失われつつある農村田園景観を保全しようとする地域です。(地域図はP26下段参照)

b. 保全事業の手續と補助金

この条例と施行規則に基づき、保全地域内で現状変更を行い、補助金交付を受けようとするには、以下の手續が必要となります。

1. 現状変更申請書の提出

添付書類: 設計図書、現況写真他

審査後、現状変更承認通知書の交付

2. 補助金交付申請書の提出

添付書類: 設計図書、工事内訳他

査定後、補助金交付決定通知書の交付

3. 工事着手届の提出

工事施工

4. 工事完了届の提出

添付書類: 完成図、完成カラー写真他

完了検査

5. 補助金交付請求書の提出

6. 補助金の交付

この事業の補助対象となるのは、もよりの街路から見える部分の、外面仕上げ工事についてのみで、補助率は対象工事費の4/10、最高限度額は200万円と基本的に設定しています(保全建物等については最高限度額300万円)。詳しくは現状変更申請時にお問い合わせいただきたいと思います。

・おわりに

最近、臼杵の歴史的景観が全国的に注目を浴びるようになり、平成14年度には、約10万人の観光客が旧市街地域に、約23万人が国宝臼杵磨崖仏へと訪れています。

臼杵の大切な個性であり魅力であるこの歴史的景観を維持していくためには、まず、ここに住む人たちの生活環境を阻害せず、近代的生活との調和をはかりながら、落ち着いたたたずまいを形成していくことが必要と考えます。

臼杵市歴史環境保全事業も施行から11年を経過しましたが、今後とも、地域住民の皆様の理解と協力の下、この優れた歴史的景観を維持していけるよう、建築士会の皆様からも施工・意識啓発についてご協力いただけることを願っております。



【連絡先】

〒875-8501

臼杵市大字臼杵72 - 1

臼杵市建設産業部

都市デザイン課 まちづくりグループ

☎ 0972-63-1111 (内1313)



市街地区



石仏地区

平成15年度 通常総会報告

5月29日(木)13時30分より、大分県市町村会館において平成15年度通常総会が開催され、平成14年度事業報告・収支決算報告、平成15年度事業計画・収支予算が満場一致で可決されましたので、以下のとおりご報告いたします。

1. 平成14年度事業報告書(略)
2. 平成14年度収支決算書
収支決算書
自:平成15年4月1日 至:平成16年3月31日

(1) 収入の部(単位;円)

勘定科目	予算額	決算額
会費収入	22,108,000	19,596,200
事業収入	2,748,250	3,853,611
補助金交付金収入	2,070,000	2,537,700
雑収入	6,876,000	6,834,297
繰越金	6,680,276	6,680,276
収入合計(A)	40,482,526	39,502,084

(2) 支出の部(単位;円)

勘定科目	予算額	決算額
管理費	15,220,000	14,691,313
事業費	21,171,800	20,229,214
予備費	4,090,726	0
支出合計(B)	40,482,526	34,920,527
次期繰越収支差額(A-B)		4,581,557

貸借対照表(略)

財産目録 平成15年3月31日現在

(1) 資産の部

1. 流動資産		58,762,583	
普通預金	大分銀行	32,332,852	
現金		23,065	
定期預金	中央三井信託銀行	10,000,000	
定期預金	みらい信用金庫	8,406,666	
定期預金	豊和銀行	8,000,000	
2. 固定資産		600,000	
敷金	田原ビル	600,000	
資産合計(C)		59,362,583	

(2) 負債の部

流動負債		298,699
1. 預り金(敷金・所得税)	198,699	
2. 未払金	0	
3. 災害引当金	100,000	
固定負債		
負債合計(D)		0
負債合計(D)		298,699
正味財産合計(C-D)		59,063,884

剰余金処分

本年度剰余金 4,581,557円

これを次のように処分する。

会館建設基金 16,585円

次年度繰越剰余金 4,564,972円

以上のとおりである。

平成15年5月29日

社団法人 大分建築士会
会長 岩瀬 八洲夫

3. 監査報告書

平成14年度決算書(収支計算書・貸借対照表・財産目録)及び会計諸帳簿、関係書類等の監査を実施致しましたが、正確かつ適正であることを認めます。

平成15年4月28日

監事 戸高誠一郎

監事 田金 孝昭

監事 佐藤 周太

4. 平成15年度事業計画書(案)

1. 会員の指導、連絡、組織の強化

(1) 建築士会会員の増強及び組織の強化推進

(2) 『建築士大分』の発行

(3) 建築士会連合会発行の「建築士」の配布

(4) 建築関係図書の紹介、斡旋並びに頒布

(5) 建築士会全国大会出席

・10月24日(金)~25日(土)

全国建築士研究集会、全国大会(於:宮崎県)

(6) 『建築士の日』事業

(7) まちづくりに関する事業等

・まちづくり推進協議会の活動

- (8) 青年・女性建築士活動の推進
 - ・ブロック青年建築士協議会出席
 - ・全国女性建築士連絡協議会出席
 - ・5月24日(土)「建築士の集い」佐賀大会の実施
 - ・サマーセミナーの実施
 - 9月13日(土)～14日(日)(於：中津市)
- (9) 継続能力開発(CPD)制度の推進

2. 諸会議の開催、出席

- (1) 総会、役員会、各委員会の開催
- (2) 支部長・理事合同協議会の開催
- (3) 常設委員会、特別委員会の開催
- (4) 青年部総会、役員会、女性部会の開催
- (5) 連合会会議、ブロック会会議出席
- (6) 本・支部職員研修会の開催

3. 建築士の教育

- (1) 国土交通大臣・大分県知事指定「建築士のための指定講習会」の実施
 - ・講習会受講の徹底推進
- (2) 国土交通大臣・大分県知事指定特別講習会の実施
- (3) 研修会、建築士研究集会の開催
- (4) 建築見学会の実施
- (5) 連合会、ブロック会主催の講習会・研修会出席

4. 建築行政及び関係団体への協力

- (1) 違反建築防止週間への協力
- (2) 建築防災週間への協力
- (3) 大分県建築物総合防災対策推進協議会への協力
- (4) 大分県木造住宅等推進協議会への協力

5. 受託事業

- (1) 一級、二級・木造建築士試験実施業務
 - ・受験申込書の受理及び審査
- (2) インテリアプランナー受験申込書の頒布等

6. 福利厚生事業

- (1) 「住宅検査・保証制度」の加入促進
- (2) グループ保険、共済補償制度の普及、加入推進

7. 表彰

- (1) 建築士会への功績者表彰及び感謝状の贈呈
- (2) 国及び地方公共団体の表彰該当者の推薦

8. 平成15年度収支予算書

自：平成15年4月1日
至：平成16年3月31日

(1) 収入の部

勘定科目	前年度決算額	本年度予算額
会費収入	19,596,200	20,863,600
事業収入	3,853,611	6,990,050
補助金交付金収入	2,537,700	500,000
雑収入	6,834,297	6,816,000
繰越金	6,680,276	4,564,972
収入合計	39,502,084	39,734,622

(2) 支出の部

勘定科目	前年度決算額	本年度予算額
管理費	14,691,313	15,920,000
事業費	20,229,214	23,258,940
予備費	0	555,682
支出合計(B)	34,920,527	39,734,622





事務局だより

【行事報告】

建築基準法・ハートビル法の改正講習会

日時 H15.5.22
場所 大分県教育会館
参加 157名

建築物のシックハウス対策マニュアル講習会

日時 H15.6.4
場所 大分文化会館
参加 233名

【会議報告】

三役会議

日時 H15.4.10
場所 事務局
出席 10名
概要 5/9開催理事会の議題について
役員改選について
連合会長表彰の推薦について
その他

青年部長・副部長会議

日時 H15.4.19
場所 コンパルホール
出席 19名
概要 「建築士の集い佐賀大会」への大分県代表者の選考について
専攻建築士とCPDについて「説明会と検討会」
士会新HP検討について

会計監査

日時 H15.4.28
場所 事務局
出席 9名
概要 平成14年度会計監査

理事会

日時 H15.5.9
場所 コンパルホール
出席 37名
概要 平成14年度事業報告及び収支決算報告について
平成15年度事業計画(案)及び収支予算(案)の決定について
任期満了に伴う役員改選について
「建築士の日」の記念事業について
会員名簿にかかる広告の募集について

女性部打ち合わせ

日時 H15.5.27
場所 建築士会事務局
出席 5名
概要 女性部役員改選について

評議員会

日時 H15.5.29
場所 市町村会館
出席 44名
概要 理事および監事の選任について

理事会

日時 H15.5.29
場所 市町村会館
出席 35名
概要 三役の選任について

平成15年度通常総会

日時 H15.5.29
場所 市町村会館
出席 出席者107名 委任状479名 計586名
概要 平成14年度事業報告及び収支決算の承認について
平成15年度事業計画(案)及び収支予算(案)の決定について
任期満了に伴う役員改選について

青年部会通常総会

日時 H15.5.29
場所 市町村会館
出席 14名
概要 14年度事業報告及び収支決算の承認について
15年度事業計画(案)及び収支予算(案)の決定について

三役会議

日時 H15.6.6
場所 事務局
出席 8名
概要 6/16開催理事会の議題について
常設委員会・特別委員会委員の選任について
顧問・相談役の委嘱について
全国大会(宮崎大会)の行程等について
「建築士の日」の全国統一事業(建築相談会)実施について

第1回CPD特別委員会

日時 H15.6.10
場所 建築士会事務局
出席 9名
概要 青年部役員改選に伴う委員の調整
認定プログラムの更新と掘り起こし
九州ブロック内での動向

第1回HP特別委員会

日時 H15.6.10
場所 建築士会事務局
出席 9名
概要 CPDプログラム更新
各種情報の収集と掲示
書き込み作業の勉強会
書き込み作業の分担

女性部顔合わせ会

日時 H15.6.10
場所 大分市
出席 11名
概要 新役員による紹介

理事会
日時 H15.6.16
場所 さとう
出席 39名
概要 常設委員会・特別委員会委員の選任について
顧問・相談役の委嘱について
青年部会・女性部会新役員の紹介について
全国大会（宮崎大会）の行程等について
「建築士の日」の全国統一事業について

女性部定例会
日時 H15.6.21
場所 高田市
出席 10名
概要 新役員紹介
今年度事業計画

事業委員会
日時 H15.6.24
場所 コンパルホール
出席 10名
概要 委員長・副委員長の選任について
「建築士の日」全国統一事業建築相談会
実施について

総務委員会
日時 H15.6.30
場所 コンパルホール
出席 8名
概要 委員長・副委員長の選任について
各支部ホームページ立ち上げに伴う補助
金について

広報委員会
日時 H15.7.2
場所 コンパルホール
出席 11名
概要 委員長・副委員長の選任について
会員名簿作成について
会誌「建築士大分」の編集方針について

広報・編集合同協議会
日時 H15.7.2
場所 コンパルホール
出席 25名
概要 編集委員長・同副委員長の選任について
会誌「建築士大分」の編集方針について

調査研究委員会
日時 H15.7.7
場所 建築士会事務局
出席 9名
概要 委員長・副委員長の選任について
平成15年度事業計画について

理事会（理事・支部青年部長合同会議）
日時 H15.7.11
場所 コンパルホール
出席 45名
概要 各支部ホームページ立ち上げについて
ホームページ維持・運営

編集作業
日時 H15.7.24
場所 事務局
出席 3名
概要 「建築士大分」 88の編集作業について

【建築士会連合会関係】

第43回都道府県建築士会職員会議
日時 H15.4.3
場所 東京都
出席 御手洗事務局長、手島
概要 「専攻建築士制度」について
建築士会CPD制度について
建築士会の会員データベースについて
第46回建築士会全国大会について
連合会からの連絡事項について

第416回定例理事会・各士会長合同会議
日時 H15.5.27
場所 東京都
出席 岩瀬会長
概要 平成15年度通常総会の運営について
平成14年度補正予算について
平成14年度事業報告及び収支決算について
本会創立50周年記念第45回建築士会全
国大会（三重大会）収支決算について
平成15年度事業計画（案）及び収支予
算（案）について
「専攻建築士制度推進特別委員会」再設
置について

第1回専攻建築士制度推進特別委員会
日時 H15.7.16
場所 東京都
出席 岩瀬会長
概要 専攻建築士制度経緯と他団体との折衝状況
各ブロック又は建築士会での専攻建築士
制度の進捗状況と今後の実施予定

継続能力開発制度（CPD）担当者情報交換会
日時 H15.8.2
場所 福岡市
出席 今永和浩
概要 継続能力開発制度（CPD）の情報交換

【九州ブロック会議関係】

青年建築士臨時会
日時 H15.4.5
場所 佐賀市
出席 渡辺青年部会長、足立副部会長
概要 14年度「パッション in 大分」報告
15年度「建築士の集い佐賀大会」について

女性建築士臨時会
日時 H15.4.5
場所 佐賀市
出席 阿南女性部会長
概要 15年度「建築士の集い佐賀大会」について

建築士の集い
日時 H15.5.24
場所 佐賀市
出席 49名
概要 分科会発表者 渡辺 賢一氏（宇佐支部）

会長・常務理事会議

日時 H15.6.27
場所 大分市
出席 岩瀬会長・首藤常務理事他4名
概要 14年度事業報告及び収支決算報告
15年度事業計画(案)収支予算(案)
について
各県建築士会提出議題について

事務局長会議

日時 H15.7.18
場所 鹿児島市
出席 御手洗事務局長
概要 連合会よりの連絡事項
各県建築士会提出議題について

【建築士試験業務関係】

平成15年度建築士試験業務連絡協議会

日時 H15.4.4
場所 東京都
出席 御手洗事務局長、手島
概要 15年度一級、二級・木造建築士試験実
施計画について
15年度一級、二級・木造建築士試験準
備等業務委託について

二級・木造建築士試験受験申込み受付

日時 H15.4.14~4.18
場所 事務局
出席 審査員16名
概要 申込者 二級学科 403名
製 図 57名
木造学科 4名
製 図 0名

一級建築士試験受験申込み受付

日時 H15.5.12~5.16
場所 事務局
出席 審査員11名
概要 申込者 一級学科 407名
製 図 21名

建築士試験九州ブロック第1回連絡協議会

日時 H15.6.12
場所 福岡市
出席 岩瀬会長・御手洗事務局長
概要 15年度一級、二級・木造建築士事件実施
について

二級建築士「学科」試験

日時 H15.7.6
場所 日本文理大学
出席 監理員16名、補助員10名
概要 受験者 二級学科 339名

一級、木造建築士「学科」試験

日時 H15.7.27
場所 日本文理大学
出席 監理員16名、補助員10名
概要 受験者 一級学科 354名
木造学科 4名

【その他会議関係】

第1回ぶんご建築連絡協議会

日時 H15.5.12
場所 (財)大分県建築住宅センター
出席 会長他2名
概要 環境と住まいフェスタ in おおいた 2003
(仮称)について

環境と住まいフェスタin2003(仮称)実行委員会設立総会

日時 H15.5.12
場所 大分県木材協同組合連合会
出席 会長他2名

大分県木造住宅等推進協議会通常総会

日時 H15.6.9
場所 大分県共同庁舎
出席 岩瀬会長
概要 平成14年度事業報告、収支決算報告及
び会計監査報告について
役員改選について
平成15年度事業計画(案)及び収支予
算(案)について

第1回「環境と住まいフェスタ in おおいた 2003」
第1回広報宣伝部会

日時 H15.6.17
場所 大分県木材協同組合連合会
出席 会長他2名
概要 設立総会後の経過について
実行委員会組織の担当割りについて
会場配置計画について
イベント計画について

平成15年度

大分県建築物総合防災推進協議会理事会及び総会

日時 H15.6.26
場所 大手町会館
出席 岩瀬会長
概要 平成14年度事業報告について
平成14年度収支決算報告について
役員改選について
平成15年度事業計画(案)について
平成15年度収支予算(案)について

第1回「環境と住まいフェスタ in おおいた 2003」
第1回広報宣伝部会

日時 H15.7.3
場所 (財)大分県建築住宅センター
出席 宮崎(隆)氏
概要 部会の進め方について
広報宣伝の方法について

木と暮らしのフェア実行委員会事務局会議

日時 H15.7.4
場所 大分総合庁舎
出席 首藤常務
概要 「木と暮らしのフェア2003」実施計画(案)
について

木と暮らしのフェア幹事会

日時 H15.7.28

場所 県庁舎3階

出席 芳山副会長

概要 「木と暮らしのフェア2003」実施計画(案)について

木と暮らしのフェア実行委員会

日時 H15.8.8

場所 県庁舎

出席 岩瀬会長

概要 「木と暮らしのフェア2003」実施計画(案)について

新 会 員 紹 介 (H.15年4月入会から7月入会)

支部	氏名	生年	級別	登録番号	〒	住 所	電 話	勤務先(☎)
別府	藤田 有香	S49	1	294022	874-0920	別府市北浜2-6-14	(0977) 26-1250	別府市役所 (0977) 21-1111
"	村井 紀子	S55	2	7105	879-1507	速見郡日出町大字豊岡長野4832-3	(0977) 73-2256	(有)浅野建設 (0977) 72-5960
"	土田 真市	S34	1	218525	874-0025	別府市亀川四ノ湯町11-16	(0977) 67-1414	一級建築士事務所 ASmATELIER (0977) 67-1414
"	平谷 充	S31	2	4223	874-0025	別府市亀川四ノ湯町8-16	(0977) 66-3642	(有)浅野建設 (0977) 72-5960
"	秋吉 勇	S51	2	7153	874-0034	別府市上人仲町13-17	(0977) 66-6634	(株)幸建設 (0977) 23-6231
"	松葉 俊郎	S24	1	117956	870-0871	大分市東八幡5-1-2	(097) 534-2242	吉野工業(株) (0977) 67-5287
大分	笠木 信義	S23	1	141313	870-1121	大分市大字鷺野1091	(097) 569-0508	新成建設(株) (097) 645-7878
"	高木 淳	S40	2	5989	874-0937	別府市秋葉町6-30	(0977) 26-5790	株式会社セリック (097) 604-7588
"	齋藤 一義	S40	1	266048	870-0916	大分市高松東3-5-2 三和コーポ高松東510	(097) 553-2607	高山総合工業(株) (097) 627-3171
"	竹宮浩一郎	S49	2	6272	870-0131	大分市皆春793-2-201	(097) 503-7065	(株)後藤泰幸建築工房 (097) 651-4888
"	宇野三知代	S41	2	6167	870-0816	大分市田室町3-50 サンテラス田室101	(097) 546-7489	(有)蔵人 一級建築士事務所 (097) 656-9878
"	野上 隆市	S32	1	181346	874-0910	別府市石垣西10-2-4	(0977) 26-0108	(株)ノガミ住建 (097) 658-5725
"	神山 元信	S20	1	115699	870-0132	大分市千歳7-1	(097) 556-1377	(有)東部設計 (097) 658-1366
"	小名川正文	S17	2	2732	870-0125	大分市大字松岡3550	(097) 520-3553	小名川設計室 2級建築士事務所 (097) 620-3553
"	岡田 俊文	S23	1	110863	870-1147	大分市ふじが丘南区109-6	(097) 568-6773	岡田 一級建築士事務所 (097) 668-6773
"	江良 浩	S45	2	6800	870-0817	大分市上春日町7組県営1A1-21	(097) 544-3369	(株)溝口組 (097) 633-0131
"	三重野 悟	S49	2	6814	870-0937	大分市南津留18-1 三真ビルA棟606号	(097) 552-0948	(株)溝口組 (097) 633-0131
佐賀関	山田真佐治	S31	1	258611	879-2202	北海道郡佐賀関町白木2417	(097) 574-0674	IDETA設計事務所 (097) 674-0674
臼杵	内田 綾乃	S60	準		870-0103	大分市東鶴崎3-5 A-301	(097) 521-5424	(有)芝設計 (0972) 63-7832
"	上村 尚也	S51	1	300131	875-0062	臼杵市大字野田872-1	(0972) 63-3225	上村建築 (0972) 63-3225
佐伯	吉川 寛	S24	2	7116	876-0803	佐伯市駅前1-3-3	(0972) 22-5422	(有)吉川不動産 (0972) 22-5858
"	塩月 禎典	S46	2	6202	876-2201	南海部郡蒲江町大字畑野浦1869-3	(0972) 45-1105	蒲江町役場 (0972) 42-1111
三重	川辺 武臣	S25	2	4494	879-7104	三重町大字小坂4024-50	(0974) 22-4828	(有)川辺建築設計室 (0974) 22-4828
日田	小田 洋海	S29	1	168955	877-0037	日田市若宮町7-9	(0973) 23-5386	(有)日口和男 建築研究所 (0973) 24-0055
"	金古 智徳	S53	2	7125	877-0201	日田市大山町大字西大山973-23	(0973) 52-2635	野木建設(株) (0973) 24-5586
"	小笠原龍司	S55	2	7123	877-0025	日田市田島1-7-40マルイビル402	(0973) 23-6636	(有)小笠原組 (0973) 24-2946
"	澤熊 祐子	S52	2	6977	877-0078	日田市北友田1-1415	(0973) 24-5615	野木建設(株) (0973) 24-5586
"	矢羽田智栄	S52	2	6845	877-0015	日田市中央1-6-11	(0973) 22-0559	(株)EH設計 (0973) 22-4237
"	今井 絢子	S52	2	6981	877-1352	日田市大字西有田2892	(0973) 22-6528	(株)今井工務店 (0973) 24-6565
中津	山下 良二	S28	1	175986	800-0236	北九州市小倉南区下貫1-7-7	(093) 473-9723	大分県立 工科短期大学校 (0979) 23-5500
"	中屋敷知則	S50	2	(福岡県) 27518	871-0089	中津市船場町515-1 シュロスコートA201	(0979) 23-4207	(有)中屋敷材木店 (0979) 24-5177
宇佐	兒島 公洋	S48	2	6461	872-0032	宇佐市大字江須賀4075-1	(0978) 38-5031	宇佐市役所 (0978) 32-1111
"	中園健太郎	S48	1	305060	879-0471	宇佐市大字四日市2332-2	(0978) 32-5514	宇佐市役所 (0978) 32-1111